

令和7年度 山口県学力定着状況確認問題の結果について 【小学校】

下松市教育委員会

1 結果の公表 にあたって

令和7年度「山口県学力定着状況確認問題（CBT方式）」は、児童生徒の学力の状況や生活習慣、学習環境の状況を調査し、県内すべての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図ることを目的として実施しました。

今回の結果をもとにして、本市におきましても、引き続き、学校と家庭・地域が連携・協働し一体となった取組を推進してまいりますので、御協力をお願いします。

○ 実施期日

- ・令和7年10月15日（水）～10月21日（火）小学校5年、中学校1年
- ・令和7年10月10日（金）～10月15日（水）小学校6年、中学校2年

○ 実施内容

小学校5、6年生 国語、算数

中学校1、2年生 国語、数学（※中学校2年生は英語も実施）



2 教科に関する 問題の結果について

【国語】 5年生は県平均正答率を上回っているが、6年生は下回っている。

【算数】 5年生は県平均正答率を上回っているが、6年生は同程度である。

6年生は、昨年度、国語、算数とも、記述式問題の正答率に課題が見られましたが、今年になって改善が図られつつあります。5年生は、短答式や記述式問題でも比較的抵抗なく取り組んでいます。引き続き記述式問題に取り組む場面を増やし、さらに思考力や表現力を伸ばしていきたいと考えています。

◎（市平均正答率の高かった問題）

▲（市平均正答率の低かった問題）

国語

◎ 目的を意識し、中心となる語や文を見つけて要点を捉えること（5年）

◎ 目的に応じて、文章と文章を結び付けるなどして、必要な情報を見つけること（6年）

▲ 引用しながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること（5年）

▲ 修飾と被修飾の関係について理解すること（6年）



算数

◎ 分数の意味を理解し、数直線上に表すこと（5年）

◎ 分数の通分、約分の意味を理解すること（6年）

▲ グラフから必要な情報を読み取り、その根拠を考察すること（6年）

▲ 直径と円周の関係について、説明すること（6年）



